

まちえーる

みわ

マチエール (matière) とはフランス語で「素材、質感」という意味。地域おこし協力隊の活動中に会った美和町の輝く「マチエール」情報を、みんなに伝えたいという思いで作ったフリーペーパーです。

教えて！まちえーるさん ⑫

「美和町ってどんな町？」移住2年目の地域おこし協力隊が
美和町のみなさまに直撃インタビュー。



里山カフェ HAKU Yoshioka Yoshimi 吉岡 芳美 さん

Profile
2007年岩国市美和町渡前に里山カフェHAKUをオープン。
岸根栗を使用した焼き菓子の製造販売など、多方面に渡って活躍中。
所在地 岩国市美和町渡前 364-4 TEL 090-7376-6624
営業時間 金・土・日 昼 10:00～16:00
日曜日および17:30以降は要予約(前日まで)

カフェから広がるワクワクが、地域にも広がる。
ここは、人と人が関わる里山の交差点。

私は今、地域おこし協力隊として情報発信や観光振興に携わっていますが、将来は地域活性化につながる『何か』を自分自身で起こしたいと考えています。そのヒントを探して、里山カフェHAKUを拠点に事業を展開されているオーナーの吉岡さんをたずねました。

広がる田畑を抜け、坂道を上っていくと、緑に囲まれた里山カフェHAKUの建物が見えてきます。オーナーの吉岡さんは「初めてここを訪れた時に『この気持ち良さをみんなにも感じてもらいたい』と直感で決めました。」とおっしゃいます。

私が訪れた日は、夏の終わりを告げるような雨が、朝からしとしと降り続けていました。「お天気が良ければテラスが特等席。」と、吉岡さん。木の香りが漂う店内からテラス席につながる大きな窓は、まるで映画のワンシーンを映すスクリーン。美和町の山々の連

なりと霧雲が描く柔らかなグレーの風景を切りとりまします。雨音のBGMに耳を傾けていると、時間を忘れて、五感で自然の息吹を感じることができました。

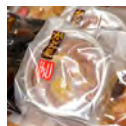
里山カフェHAKUを拠点に吉岡さんは、岸根栗を使った焼き菓子の製造販売、民泊、ウエディングなど、多面的にご経営をされています。庭にある窯で手作りピザの体験もでき、その楽しそうな様子はホームページやSNSなどで拝見することができま

す。最初からこのようにご計画されていたのですか？とうかがったところ、「お客さんからの要望や、出会った方との縁で広がっていきま

した。」さらに吉岡さんは続けて「私ひとりではできないことも、夫をはじめ周囲の皆さんが力を貸して下さる。だから新しいことにもチャレンジをもらいました。」

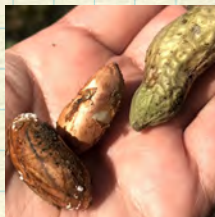
2019年には屋外テラスが完成し、念願のステージイベントの開催も可能に。夢はさらに広がります。「地域でとれた野菜の直売をしたり、仲間と一緒に美和町の食材から四季を感じる特産品を開発したり、今も動いています。こうやって人と人が関わり合うことが、地域の活性化には大切だと思います。」

そうおっしゃる吉岡さんの素敵な笑顔に引き込まれ、私も心がワクワク踊ります。次の一歩を踏み出す吉岡さんのお話に、



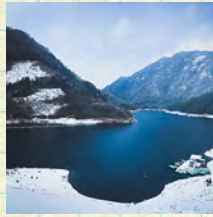
約2年前の8月1日、
わたしは岩国市地域おこし協力隊として、
縁もゆかりも全くなかった
ここ美和町に、家族で移り住みました。

土地勘なし、
知人なし、
里山暮らしのスキルなし。
縁もゆかりも全くないよそ者が、
ないものだらけ、
まっさらの状態からスタートした
美和町での協力隊活動。



この2年の活動を、振り返って。

岩国市地域おこし協力隊・藤田



心細さを感じつつ
恐る恐る踏み出した第一歩から、
今日までを振り返ると、
この2年間で歩んだ道程には
たくさんの新しい出会いと縁が
色とりどりに重なり合っていて、
何と豊かな2年間になったことかと。

縁もゆかりも全くないよそ者を
受け入れ、見守り、
「大丈夫!」「がんばれ!」と
笑顔で背中を押してくれる地域のみなさんに
どれほど勇気をもらったか・・・。
この2年間でお世話になったみなさんには、
何度お礼を言っても足りないぐらいです。

いま、わたしの最大の目標は、
協力隊を卒業しても、
このまま家族と一緒に
美和町で暮らし続けること。

そして、
誰かに心細い気持ちの人がいたら、
「大丈夫!」と勇気を分けてあげられる
そんな存在に、わたしになりたい。

卒業まであと約半年。
地域おこし協力隊として学んだことを大切に、
美和町で、この先も、
歩み続けたいと思います。

次号が
最終号に
なります!



2021年9月

岩国市地域おこし協力隊・地域おこし協力隊通信「みわまちえーる」

発行人 藤田

空き家バンクは

「敷居が高い。」

と、お感じの方へ。

敷居が高いとは本来、不義理をしたり、
相手に迷惑をかけたりしているため、
その人の家には行きにくい、という意味の慣用句ですが、
美和総合支所・地域振興課は、
いつでも空き家のご相談をいただけるよう、
窓口でお待ちしております。
お気軽にお越しください。

みわまちえーる発行人



美和町地域おこし協力隊
藤田陽子

いま、美和町でこんな活動をしています。

観光案内やイベントなどの情報発信。
移住・定住のお手伝い。

発行責任

岩国市美和総合支所 地域振興課
〒740-1231 岩国市美和町生見 12126 番地
TEL 0827-96-1111 FAX 0827-96-0415

©2019 まちえーる

文章と写真の流用は美和総合支所 地域振興課にお問い合わせください。

不要な持ち家のお話、お聞かせください。

持ち家 リユース相談 TEL 0827-96-1111 美和総合支所・地域振興課